



学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

あれあれ、できたよ、できちゃった！

クリティカルポイント

学校という場で教師として子ども達と接している時、とても幸せな瞬間を度々経験します。どんな時か？それは、**子ども達がそれまでできなかったことができた、わからなかったことがわかった、そんな瞬間**です。跳べなかった跳び箱が跳べた。縄跳びで新しい技の跳び方ができた。リコーダーで出せなかった音が出せた。なかなか解けなかった算数の問題が解けた。初めて25メートルが泳げた。できなかった逆上がりができる。その瞬間、子ども達は「やったー。できたー。」という笑顔を見せてくれます。子どもと共に喜べる瞬間です。**その瞬間。それは諦めずにコツコツと取り組んだ地道な努力の後、その子の元へある日突然にやってきます。**今年度の子ども達、先生方、パッと輝く笑顔と共に、そんな幸せの瞬間がどれくらいあったのでしょうか？

そんな**できなかったことができるようになった瞬間**、それを「**クリティカルポイント**」と呼んだりします。『クリティカルポイント』とは、『物事が限界に達する段階の事』。そもそも科学用語だそう、その意味は例えば「ある状態にあるもの」が、その限界に達して**突然その状態が変化する時**。何やらとても難しい・・・。例を挙げて分かりやすく言えば『「液体」である水の温度が上昇し沸騰すると、液体でいられる限界に達し、突然「気体」に変わるその瞬間』というようなことです。ここでは

『日々の地道な努力が実り、何かが大きく変化するきっかけ』とでも捉えてください。

そういった事は、私たちの日常の中にも見られるし、誰にでも経験があるのではないのでしょうか？例えば、幼い頃、何度も何度も転んで乗れなかった自転車。一輪車もそうですが乗れない時は「なぜ、支えもなく真っ直ぐ立っていただけるのだろうか？」と不思議に思えるくらいに乗りながら難しく感じたはず。そんなのに乗れるわけがないと感じた人もいるかもしれません。

でも、**ある日を境に、急にバランスが取れるようになり、今まで乗れなかった事が不思議に思えるように簡単に乗れるようになります。そう、そこが『クリティカルポイント』**なのです。



植物の中のサボテンなどは何年たっても特に目立った成長を感じることはないのですが、**ある時、急に大きく成長することがある**そうです。サボテンの中で、**成長に関する何か大切なポイントがあり、日々の目には見えない成長を積み重ね、そのポイントをクリアしたことで急な成長を見せる**のでしょう。これも一つのクリティカルポイントです。



しかし、このクリティカルポイント、**いつでも、誰にでも、何にでも訪れる訳ではありません。「何もせずじっと待っていれば、やがて自然に訪れる」ということはない**でしょう。**それまでの努力が必要なのは言うまでもありません。**例として挙げた自転車。何回も何回も、転んだりしながら、練習や努力を継続していくことで自分でも気づかないうちにバランスのととり方やコツを少しずつ体得していき、それが少しずつ積み重なり、やがて「**倒れずに乗れた！**」という瞬間、クリティカルポイントへ到達するのです。**できないからできた！へと変わるのです。**それまでとは180度違う世界が現れます。

しかし残念なことに「努力することは大切である」と分かっているにも、**その成果はなかなか簡単には現れません。**自分自身では良い変化や成長が感じられない、気づけない事も多いのです。辛い事の方が多いのです。

その為に、多くの方は「**水は100度になると、液体から気体へと変わるように、世界がいきなり全て変わることを知らずに、いや、知る前に100度まで待つことができない**という状態になりがちです。つまり、「**努力が報われるまで待てずに、途中であきらめる**」という場合も多いように思います。

「**できなかったことがウソのように、できるようになる。**」子どもでも大人でも、誰だってそんな嬉しいことはたくさんあった方がいいですね。そして、それは新たなことに挑戦する意欲にも繋がります。

だからこそ、子ども達には**一つでも多くの「できた」や「わかった」を実感させ、その喜びをたくさん味わわせたい**と思います。そして、そのために、**目的・目標を持ち、諦めずに粘り強く努力を継続することの大切さを理解させたい**とも思います。

生い立ちや家庭環境、生育状況など子ども達は一人一人違います。それぞれの個性や特性を持っています。私達は、そんな子ども達の状況を理解しながらしっかり受け止め、子ども達一人ひとりに寄り添って**個々の子どものクリティカルポイントを探し、そこまで導くことのできる教師を、そして学校を目指したい**と思います。そして、子ども達のたくさんの素敵な笑顔に出会い、共に喜べたら幸せだなあとと思います。